

**平成 22 年七戸町議会第 3 回定例会
会議録（第 3 号）**

平成 22 年 9 月 10 日（金） 午前 10 時 00 分 開議

○議事日程

- 日程第 1 報告第 16 号 専決処分事項の報告について（除草作業中での事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて）
 - 日程第 2 報告第 17 号 専決処分事項の報告について（平成 22 年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第 3 号））
 - 日程第 3 議案第 67 号 七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
 - 日程第 4 議案第 68 号 七戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
 - 日程第 5 議案第 69 号 七戸町表彰条例の一部を改正する条例について
 - 日程第 6 議案第 56 号 平成 22 年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第 4 号）
 - 日程第 7 議案第 70 号 平成 22 年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第 5 号）
 - 日程第 8 議案第 57 号 平成 22 年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）
 - 日程第 9 議案第 58 号 平成 22 年度七戸町老人保健特別会計補正予算（第 1 号）
 - 日程第 10 議案第 59 号 平成 22 年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）
 - 日程第 11 議案第 60 号 平成 22 年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）
 - 日程第 12 議案第 61 号 平成 22 年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第 2 号）
 - 日程第 13 議案第 62 号 平成 22 年度七戸町七戸霊園事業特別会計補正予算（第 1 号）
 - 日程第 14 議案第 63 号 平成 22 年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）
 - 日程第 15 議案第 64 号 平成 22 年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）
- 決算審査特別委員会審査報告
- 日程第 16 議案第 65 号 平成 21 年度七戸町各会計歳入歳出決算の認定について
 - 日程第 17 議案第 66 号 決算の認定について
 - 日程第 18 報告第 18 号 平成 21 年度七戸町財政健全化判断比率及び資金不足比率

の報告について

- 日程第 19 陳情第 9 号 子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する陳情
- 日程第 20 発議第 5 号 子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する意見書（案）の提出について
-

○本日の会議に付した事件

- 日程第 1 報告第 16 号 専決処分事項の報告について（除草作業中での事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて）
- 日程第 2 報告第 17 号 専決処分事項の報告について（平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第3号））
- 日程第 3 議案第 67 号 七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 4 議案第 68 号 七戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第 5 議案第 69 号 七戸町表彰条例の一部を改正する条例について
- 日程第 6 議案第 56 号 平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第4号）
- 日程第 7 議案第 70 号 平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第5号）
- 日程第 8 議案第 57 号 平成22年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 9 議案第 58 号 平成22年度七戸町老人保健特別会計補正予算（第1号）
- 日程第 10 議案第 59 号 平成22年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 11 議案第 60 号 平成22年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 12 議案第 61 号 平成22年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 13 議案第 62 号 平成22年度七戸町七戸霊園事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第 14 議案第 63 号 平成22年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 15 議案第 64 号 平成22年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- 決算審査特別委員会審査報告
- 日程第 16 議案第 65 号 平成21年度七戸町各会計歳入歳出決算の認定について

日程第17 議案第66号 決算の認定について

日程第18 報告第18号 平成21年度七戸町財政健全化判断比率及び資金不足比率
の報告について

日程第19 陳情第9号 子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する陳
情

日程第20 発議第5号 子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する意
見書(案)の提出について

○出席議員(17名)

議長	18番	田中正樹君	副議長	17番	工藤耕一君
	1番	附田俊仁君		2番	佐々木寿夫君
	3番	天間章八君		4番	瀬川左一君
	5番	盛田恵津子君		6番	田嶋弘一君
	7番	田嶋輝雄君		8番	三上正二君
	9番	天間清太郎君		10番	原子孝君
	12番	松本祐一君		13番	二ツ森圭吉君
	14番	田島政義君		15番	中村正彦君
	16番	白石洋君			

○欠席議員(0名)

○説明のため会議に出席した者の職氏名

町長	小又勉君	副町長	大平均君
総務課長	似鳥和彦君	支所長 (兼支所庶務課長)	米澤秀一君
企画財政課長	楠章君	税務課長	花松了覚君
町民課長	澤田康曜君	社会生活課長	森田耕一君
健康福祉課長	田中順一君	会計課長	天間勤君
農林課長	神山俊男君	新幹線建設対策課長	八嶋亮君
新幹線建設対策課 推進監	瀬川勇一君	建設課長	米田春彦君
商工観光課長	米内山敬司君	上下水道課長	天間一二君
城南児童館長	向中野良一君	教育委員会委員長	中村公一君
教育長	倉本貢君	学務課長	附田繁志君
生涯学習課長	鳥谷部宏君	スポーツ振興課長	小原信明君
中央公民館長	二ツ森政人君	南公民館長 (兼中央図書館長)	櫻田明君

農業委員会会長	佐藤 午之助 君	農業委員会事務局長	木村 正光 君
代表監査委員	野田 幸子 君	監査委員事務局長	佐野 尚 君
選挙管理委員会委員長	松下 喜一 君	選挙管理委員会事務局長	澤田 康曜 君

○職務のため会議に出席した事務局職員

事務局 長	佐野 尚 君	事務局 次長	築田 政光 君
-------	--------	--------	---------

○会議録署名議員

17番	工藤 耕一 君	1番	附田 俊仁 君
-----	---------	----	---------

○会議を傍聴した者（6名）

○会議の経過

○開議宣告

○議長（田中正樹君） 皆さん、おはようございます。
ただいまの出席議員は17名で、定足数に達しております。
したがいまして、平成22年第3回七戸町議会定例会は成立いたしました。
議長において作成しました議事日程は、お手元に配付いたしたとおりであります。
これより、9月7日の会議に引き続き、本日の会議を開きます。
議案審議に入ります前に、9月7日の一般質問において、瀬川左一議員御質問の草刈り延長について、建設課長より答弁があります。
建設課長。

○建設課長（米田春彦君） 瀬川議員にお答えします。
中部上北シルバー人材センサーに委託している草刈り延長は、52路線62.2キロ、側溝清掃をお願いしている箇所は9カ所、3.1キロメートルでございます。
以上でございます。
これより、審議に入ります。

○日程第1 報告第16号

○議長（田中正樹君） 日程第1 報告第16号専決処分事項の報告について（除草作業中での事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて）を議題とします。
これより、質疑に入ります。
発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。
これより、討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。
これより、本案について採決します。
本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。
したがいまして、報告第16号専決処分事項の報告について（除草作業中での事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて）は、原案のとおり承認されました。

○日程第2 報告第17号

○議長（田中正樹君） 日程第2 報告第17号専決処分事項の報告について（平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第3号））を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書に行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、報告第17号専決処分事項の報告について（平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第3号））は、原案のとおり承認されました。

○日程第3 議案第67号

○議長（田中正樹君） 日程第3 議案第67号七戸町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

16番。

○16番（白石 洋君） これは、特別職の関係で、町長、副町長、次にも関係あるのですが、教育長の給与を下げるということですが、これはなぜ下げなければならないのか。私は、あえて下げる必要はないのではないかというふうに思っているわけです。

きのうも決算でしたが、今年度もそんなに財政の状況が豊かだということは言いませんが、つらいのですが、つらければつらいなりに過ごしてきた過去もあるわけですから、こういうことを安易に私はしてはまずいなど、こう思うことが1点。

それからもう一つは、この附則第3項を次のように改めると、こういうことではありますが、これは3月31日、いわゆる町長の任期期間中に自分の責任の範囲でこれはこうしたいと、こういうことのございですが、これはあえて3項に載せるまでもなくて、附則で私は対応すべきではなかったのかなという気もするのですが、どんなものですか。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） お答えいたします。

第1次の行政改革への取り組みということで、一定というよりもかなり大きい成果が出たというふうに思っております。ただ、これですべてもう完了ということではありませんし、非常に厳しい経済情勢、あるいは景気の状態ということで、引き続き、いわゆる2次のプランというのはやはりつくっていかなければならない。1次の段階で、いわゆる行政サービスを落としているの也有ります。あるいは、職員給与、あるいは議員の皆さん方の報酬に関しても、1次では相応の痛みというのをお願いをしました。そういったものをある程度戻してはおりますけれども、これからについてもまだそういう行政、住民に対するサービス、まだそれ以前の状況に完全に復活していません。ですから、まだまだそういう取り組みは続くということでありまして、そういった痛みを伴う負担をお願いする上で、やはり率先垂範といいますか、我々もある程度率先してこういった姿勢というのを示ささなければならないということで、今回のこういう提案ということになりましたので、ひとつ御理解をいただきたいと思ひます。

それから、次の項目については、総務課長から答弁させます。

○議長（田中正樹君） 総務課長。

○総務課長（似鳥和彦君） お答えいたします。

25年3月31日までの期間ということでございますが、これは附則でうたってございますので、25年3月31日になればもとに戻るといふ形でございます。これも、附則でうたってございますので。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） ほかに、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第67号七戸町特別職の職員で常勤のものゝ給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第4 議案第68号

○議長（田中正樹君） 日程第4 議案第68号七戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがって、七戸町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第5 議案第69号

○議長(田中正樹君) 日程第5 議案第69号七戸町表彰条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

14番。

○14番(田島政義君) これを見ていると、町長と副町長は2期8年、議員は12年、確かに任期中の場合は3期12年というのはわかるのですが、この表彰もやるのであれば、何で町長と副町長が8年で議員が12年なのか。あとは、また消防団長が8年という、議員がもう1期やらなければ表彰の対象にならないという、差別というような感じがある。その辺、総務課長、どのように考えていましたか。

○議長(田中正樹君) 総務課長。

○総務課長(似鳥和彦君) ただいまの御質問にお答えいたします。

差別とかそういうのでは全くございませんで、もともと町長10年、副町長は15年でございましたが、議員の方も15年でございましたので、町長8年で議員12年、ちょっとスライドをさせただけでございますので。あと、消防団の団長、副団長に関しましては、最初15年でございましたが、1期2年でございまして、15年というのと相当な年数たちますので、ちょっと無理だろうということで8年にいたしましたので、御了解いただきたいと思えます。

以上でございます。

○議長(田中正樹君) 8番。

○8番（三上正二君） 同じことなのですから、この消防団の団員とか、議員の場合は3期12年だから15年、これは対象になるから、それはそれでわかるのですけれども、消防団も8年にすれば2年1期だから、これも理解できる。でも、町長と副町長、これ15年のやつは、直すのはいいとしてみても、これ前のおり10年でいいんでないかい。それでも、2期超えればなるんだよ、どういふもんです。

○議長（田中正樹君） 総務課長。

○総務課長（似鳥和彦君） お答えいたします。

これは、二、三年前から表彰審議会の委員からもいろいろ長いという、全体的に長いのではないかという話がございます、事務方でいろいろ調べた経緯がございます。それによりますと、県内の15団体を調べたわけなのですが、15団体中11団体が昔は大体同じぐらいだったと思いますが、15団体中11団体が町長の任期が8年、表彰8年ということになっていましたので、区切りのいいところで8年にいたしましたわけがございますので、御了解願いたいと思います。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第69号七戸町表彰条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○日程第6 議案第56号

○議長（田中正樹君） 日程第6 議案第56号平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第4号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

8ページから10ページまでの歳入全般にわたり発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 歳出に入ります。

11 ページ、1 款 1 項 1 目議会費から、15 ページ、5 款 1 項 1 目労働諸費まで発言を許します。

2 番。

○2 番（佐々木寿夫君） 13 ページ、新エネルギー対策、15 目のその中の工事請負費、道の駅急速充電設置工事費というのが1,800万円ほど減になっているのですが、これは最初の見積もりとは大分違うことになるわけで、このわけを御説明願いたいと思います。

○議長（田中正樹君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） ただいまの御質問にお答えいたします。

我々としてしましては、当初、設備の工事で実施したいと、こういうふうな計画で、この工事費のところに計上させていただきましたけれども、やはりこの充電器の技術開発といえますか、大変目覚ましい進歩を遂げているというのが第1点と、それから、当初、七戸町だけだというふうなところでしたけれども、やはり上十三、下北地域もできれば巻き込んだ、協力をしていただいたもので実施したいということで、新聞報道等でももう既に報道されましたけれども、リーディング協議会と先進的な取り組みをする協議会を立ち上げまして、全国のこういう電気自動車関連の業者、事業者さん、それから自治体の方々にも参加をしていただきまして立ち上げてございます。

その中で出たのが、七戸町の道の駅設置一つだけだと、やはり使い勝手がどうなのかと。下北方面、それから十和田湖方面にも、そういうふうなもので運行を伸ばすような形での取り組みが望ましいのではないかというふうな提言もありましたので、私どもとしては、設置工事だけではなくて、今後の方向性、あり方についての提案もいただきながら設置したいというふうなことと、それから、工事のみですと、やはりどうしても経費の圧縮が限られたものになりかねないというふうなところもございまして、そういう企画提案をいただいた事業者さんに機材の調達はお願いしながら、施工は地元の工事業者でやるというふうな、いわゆる公開型のプロポーザルで実施したいということで、今回、上段の委託料の中に同額を計上させてございまして、今回のこの措置は、いわゆる組みかえという内容でございまして、お願いしたいという内容でございまして、

以上です。

○議長（田中正樹君） 2 番。

○2 番（佐々木寿夫君） 現在、道の駅に急速充電器を設置しているわけですが、今現在使う予定になっている自動車とか会社は、どれぐらいですか。

○議長（田中正樹君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） 今の御質問、ちょっと誤解されているかと思うのですが、まだ充電器は設置はされてございません。道の駅に太陽光発電パネルは設置してございますけれども、充電器については議決をいただいた後に所定の手続きを経て工事を実施したいと、こういうふうにご考えてございます。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

14番。

○14番（田島政義君） 同じことなのですが、組みかえと財政課長言うのですが、議決していただいた後に工事をするということなのですが、果たしてこれは冬場に入る、冬期間に入る電気自動車そのものは、バスがあと何カ所ぐらい、先ほど課長おっしゃったように、七戸だけ走ったのでは、委員会もそれはきちっとしておかないと、いいものをつくった割には前に進まない形になるわけですよ。七戸の道の駅に1,800万円もの充電器をつくって、あとどこにつくるのかも、ある程度その会議の中で示されているかどうかなのです。

莫大な8,600万円もするバスですから、その中で充電器1,800万円、恐らく各町村は、七戸町が出さない限り、国が出さない限りは、私は予算を出さないと思いますよ。ですから、その辺をきちっとしないと、ただ、工事を今度は請負のほうに、委託料のほうに組みかえしていますが、これはどういうわけで組みかえになったのか、先ほど説明していましたが、工事は工事だったらきちっと工事にすればいいし、全部委託して全部ざらっとやるような感じになると、やっぱり工事もきちっと形の中で工事をさせると。やっぱり特殊な工事だと思うのです、電気の充電器ですから。恐らく機械設備そのものが一番高いのかなと思うのですが、そういうことで、あと何カ所ぐらい、70キロ走るといったって、坂もあれば下りもあるし上りもあったりとか、そういうのがあれば、当然、走る距離そのものがどのくらいするのか。前に説明のときには、私がいなかったときは70キロぐらいといったけれども、電池も7年ぐらい、三、四年しかもたないとかというと、我々の普通のハイブリッド車でも、車を組みかえ6年ぐらいたつと、やっぱり電池が一番高いようですから、そういう関係で、やっぱり町長、十和田になるのか下北のどこになるのかも、ある程度、町民だってこれ安いバス、800万円か何ぼのバスなら何も言わないのですよ。今、幼稚園の150万円がもれなくくっついているんだもの、当然、バスの8,600万円で幼稚園が建ってしまうんだよ。ですから、そういうことで、私はきちっと町民が納得するように、どこどこに充電器をつけて、あの軽トラックで十和田に行ったら電池がなくなって引っ張ってきた。バスが電池なくなったら、何で引っ張ってくるんですか。ですから、そういうのも、事実、軽トラックを引っ張ってきているわけですから、電池なくなって。ですから、そういうのもあれば、今のところ、ただ町民の皆さん、バスを買いましたと、ちょっと乗ってくださいって町の中だけしか歩かれてないわけですから、町民だって町の中だけであれば無駄だという話が出てきますから、やっぱりそういうのであれば、きちっとした形の中で、今議会で出せなければ臨時もあった場合に、少なくとも2カ所、下北方面と十和田湖方面にはこういうのをつけますよというのだけは明確に明示してほしい。これはお願いですので、ひとつよろしく。答弁お願いします。

○議長（田中正樹君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） 質問の要旨は2点あったかと思います。その1点目のリー

ディング協議会で十和田地域と七戸町、町外にどの箇所に充電器の設備がなされるのかというのは、町長からお答えをしていただくとして、委託料の組みかえの趣旨ですけれども、先ほども若干説明をいたしましたけれども、まず、今回については、なかなかない取り組みだということで、我々もさまざまな情報は仕入れているつもりですけれども、やはり、まだ不勉強なところもございまして、やはり専門家からの立場で、今のこの急速な技術開発に対応したようなやり方、今後の進め方について提案をしていただきたいという部分が、まず大きな眼目でございます。

我々としては、七戸町内だけだとやはりもったいないということで、当初から町内の町民バスとして活用プラス観光面に生かせるような取り組みも、実証実験も加えながら、データをとりながらも活用したいということで進めてきておりますので、幸に先ほども御説明しましたように、下北、十和田、上十三地域でのリーディング協議会というふうなことで立ち上げをしていただきましたし、大変活発な議論もなされてございます。それらとの連携をとった町外への充電設備の設置の仕方、あり方、それから技術的な対応の仕方等も専門の業者から企画提案をしていただきながら施工も進めたいということで、この委託料に組みかえたのも、工事の実施については町内の業者と連携したもので提案を申し込みをしてくださいというふうなことでやりたいと、こういうふうと考えてございますので、御理解を賜りたいと思います。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） 改めて、もう少し構想が具体的にまとまれば、また何かの機会にお示ししたいと思います。いわゆる産・官・学一体となった極めて先進的な取り組みということで今進めております。官というのが、いわゆる県も入っております。それから、もう一つが、比較的十和田市さんが非常に市長からして前向きで、とりあえず充電器は焼山のあの地区に設置したいということで協議をしております。それから、県では、今、県内主要な地点10カ所に充電設備をするという方向で進めているようでありまして、その一つが、例えばむつ市なのです。むつ市にあるとなれば、バスであれば非常に不安があるということで、途中の横浜とかそういった地点への設置ということで、県と一緒に今協議をしている最中です。それから、バスに限らずなのです。もう既に市販されている、例えば三菱の車があります。それから、この秋に日産の車も出るということで、そういったものを利用した新たな観光ということで進めていきたい。しかも、それが七戸十和田駅発の新たな形の旅行の形態ということで、実はJRの企画部門のほうとも今協議をしております。ほとんど世界に例のないような、そういう旅行商品というものも何とかつくりたいと、つくろうということでやっております。非常にまだ、ガソリン車みたいに気軽に使える状況ではないけれども、もうこれは時間の問題で、かなり乗用車などは普及すると思います。

それから、もう一つが軽トラック、これは実は、むつ小川原の支援で1台導入して、これに向けての町内の産業といいますか、整備とかそういった組みかえも近々講習をやっ

て、軽トラの普及というか、そういったものもほかに先んじて進めていきたいと。幸い県内に、八戸にそういう業者が一つ育ちつつあります。実際やっているところは、今、ゼロスポーツで、これは東京のほうですけれども、そういうことでやるのだったら先にそういったものを進めたいということでもありますので、もう少しまとまればちゃんとした形でまたお示しをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○議長（田中正樹君） 8番。

○8番（三上正二君） 非常に新幹線絡みでいい企画だと思うのですが、ただ、これ、今、組みかえてやるということは、要するにこれで可決されると着工ということになるわけでしょう。ただ、そのときには、県ではそういう方向性に行きたいという、十和田市さんも積極的だけれども、それっていうのはいつごろの目鼻でつぐんですか。というのは、充電器とかそういうのは、3年か5年あればだめになるけれども、3年も5年もかかったのでは先の進行としてこれをやった意味でも、それまでの間は何年かは使えない、七戸から出れないと、出られないという状況下においても、その辺の目鼻はどんなものでしょうか。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） 実は十和田市さんとは、市長とお話ししておりまして、これから冬に向かうんですけれども、恐らく新年度の事業というか、そういったことではやっていただけるというふうに思っていますが、その辺もこのリーディング協議会の中のメンバーで、実は十和田市が副会長になっておりますので、その辺をお互いに詰めて進めていきたいと思っております。

一つが、奥入瀬溪流の、できれば将来的な排ガス対策というのでも実は協議しております、そこの大きい目玉にはなるというふうに思っています。本当は早いほうがいいのですけれども、一応目安としては新年度予算でもう大体やっていただけるのではないかとこのように思います。

それから、県のほうも、県は国の補助金を使いながらやっていくということで、10カ所明言しておりますので、恐らくこれも新しい年度ではつくというふうに考えています。これも積極的に働きかけをしていきたいと思っております。

○議長（田中正樹君） 9番。

○9番（天間清太郎君） 充電に幾らぐらい時間がかかるんですか。ガソリンと同じですか。

○議長（田中正樹君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） お答えいたします。

今現在、実際に市街地を走行しているのが、三菱のアイミールという車種ですけれども、急速充電ですと30分程度で80%の充電というふうなことで、ですから、買い物が出てらに、買い物の最中に充電をしてもらおうというふうなことで、そういう場所を選んで当初は設備をしたいということで、道の駅ということに私どもでは考えてございます。

以上です。

○議長（田中正樹君） 9番。

○9番（天間清太郎君） 焼山あたり、車とめるといったって、休み屋にとめても買い物30分も車に今、電気ためるから待ってくれといてもちよっとね、油なら15分か10分か何ぼとめるけども、おしっこするぐらいのそれこそ15分とか何ぼだといいいけども、30分もとめておいて、そのうちちよっとね、買ったから仕方ないけども、長過ぎるのではないかなと思って。それで、今聞いたけども。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 次に、16ページ、6款1項1目農業委員会費から、19ページ、9款2項3目消防設備費まで発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 次に、19ページ、10款1項2目事務局費から、23ページ、13款2項5目地域づくり 基金費まで発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 次に、歳入歳出全般にわたり発言を許します。

1番。

○1番（附田俊仁君） 12ページの19節、新幹線の十和田駅開業に係る誘客促進事業負担金がマイナスの77万1,000円で、19ページの土木費の2目の新幹線全線開業効果推進事業費補助金1,536万円なのですが、今、12月4日の開業を迎えれば、誘致のための事業から、今度は駅利用促進のための事業に当然のごとく切りかわっていくと思うのです。その際の、今年度、来年度、それ以降の全体的な流れの中での予算の配分と、あと、それに関連するのですが、金子畜産さんで、今、ジェラートの店、ナミキというところをつくっていました。あそこの旧森田牧場さんのところのケヤキの並木が非常に価値のあるものだと思って、まず、この辺にああいう並木って、私が知る限りないのですね。

七戸町に、例えば観光に來られて1日いっぱいぶせといたら、これは無理な話だと思います。なので、要は1時間見るところを、例えば1時間30分、それを2時間30分、3時間という形で長く滞在させるためには、当然のごとく町内の観光スポット、もしくは地産地消の施設等の開発整備というものが当然必要になってくると思うのですが、そのときには個人で金子畜産さんの場合は頑張っています。町としても、何とか後押しをしてやっていていただきたいなというふうに考えているのですが、その辺のビジョンというか、もくろみというか、ありましたら町長のほうから御答弁お願いします。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） これからの、いわゆる誘客のための一つの話であると思っています。それぞれが、町にいろいろな観光資源だとか、あるいはまた食であるとか、いろいろ

あるのですけれども、ばらばらであるというのは、やはり人を呼ぶために非常に不利であると。いかにこれをまとめて、町としても一つの誘客の材料にするのかというのが、これからのポイントになると思いますので、今お話いただきました、例えばハッピーファーム金子さんのところ、そういった食だとか、あるいは、馬車とか馬というのもやるということでもありますので、その辺と町のその他のものとの組み合わせということで、実は商工観光課なり、きょうも読売関係の方が見えて、その辺の商品づくりをやっているのですけれども、今、改めて開業に向けて、あるいはまた、開業後、それから開業した後、いわゆるJRのデスティネーションキャンペーンというのがあります。本格的なものは雪が消えてからということになると思います。その辺もよく検討して、いわゆる助成をするなり、あるいはまとめてについては町が中に入って、そういう商品づくりというのをしていきたいというふうに思っています。

○議長（田中正樹君） 1番。

○1番（附田俊仁君） あそこの敷地内には、南部まがりやの建物があったり、今のジェラートさんのお店の前も、私道で砂利道という形で、国道4号線からの入るのも、ちょっと場所もなく、394のほうから、旧の入り口のほうから入っている状況だったりして、あれがもうちょっと町も一体になって、例えば金子畜産さんと提携して事業とかを進めていってもらえれば、金子畜産さんだけでなく、その他のそういう地産地消の志のある方々があそこら辺に集まってこれるような場所になってくれれば、また一つのメリットがあるのかなと。

土地が結局40町歩あって、反対側も合わせれば80町歩もあるわけですから、そういう広い土地というのは七戸町の中でも早々あるものではないので、あそこの有効活用というのは非常にこれから目玉になるのかなというふうに考えていましたので、一応、要望として押さえております。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

8番。

○8番（三上正二君） 今のにやや似ているのですけれども、確かに新幹線絡みの形の中で、12月4日以降になると、今度は誘客ということになると思うのですけれども、今、これは商工観光課かな、雇用促進、何かでやっているのかな。いろいろな、例えば商工会の女性部の方々とか、それから、旧盛喜ビルですか、旧健康センターといったかな、あそこを使っているいろいろな試作品とかそういうのをやっているのですけれども、ただ、いろいろなものあるのですけれども、何かまとめた形のものというのは、それから先のもののはつくるのだけれども、それから先というのはいないのですよ。

一つの例なののですけれども、例えば道の駅あたり、それから七彩館あたりがあるのですけれども、そういうあたりのところで、せっかくいいものができた。これならどんなかというのは、アンテナショップみたいなそういう形のところで考えていくという形のを、新幹線でこれからお客さんが来るでしょうし、そういう形のものに向けた、12月4

日までまだちょっと時間ありますので、その形の中でそういう形の考え方というのは、何かせつかくいいものが、これならば何とかいけるかなといいながら、試食会で終わった形の中で嫌がいっぱいあるのですよ。そういう考え方というのはあるのでしょうか。

○議長（田中正樹君） 商工観光課長。

○商工観光課長（米内山敬司君） おっしゃるとおり、いろいろな商品つくっておりました。それで、今回、9月の末ですが、議員も御承知のとおりアピオススープほか4種類ぐらい正式に協議会の方に食べていただいて、それを発表すると、もうそこでつけるというような段取りになっていました。その後、おっしゃるとおり、交流センターのオープンであれ、道の駅であれ、前にも御提言をいただいていたので、試食とかそういうものに持っていくというようなことで考えておりましたので、よろしく願いいたします。

○議長（田中正樹君） ありませんか。

14番。

○14番（田島政義君） 10款の10目の盛田古書整備費ですか、この図書管理システム購入費53万8,000円、備品購入費で見ているのですが、これは何人ぐらい、あそこに移してからこれを見る方、まず来ていますか。それから、これは教育委員会の担当になるのですが、町立図書館というのは人がかなり利用率があっても非常に小さいし、あれがあるので、その辺も踏まえて、果たして本当に専門家でなければ見れないものを、どんどん整備しても、町の図書館のほうがさっぱり、町立図書館のほうが整備されないで、そういうのばかり整備していても、日常使われているほうの整備もきちんとしてもらわないと、そういう町民からの声もありますので、大体どのぐらい本当にその専門書を読みに行っているのか、聞かれても我々わかりませんので、こういう機会でないといけないものですから、わかっていたら教えてください。

○議長（田中正樹君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（鳥谷部 宏君） 今、図書を整理している途中なのですがけれども、盛田稔先生の知り合いだと思いますけれども、ことし札幌から2名ほど見えておりました。それから、町会議員の方もたまに見せてくださいという方もおりましたので、今のところ整備途中ですので、そういう段階です。

この図書管理システムを導入するということは、どういう本があるのか、今の図書館に入ってホームページで公開している図書検索システム、そのためのデータ登録のためのシステムでございます。そうすると、図書を登録してホームページに載せると、見せてくださいという方も出てくるのかなというふうに考えております。

図書の分類、それから登録作業を進めておりますけれども、冊数については少なく見積もっても3万冊以上あると思っております。この図書管理システムが導入されると、1日100冊ぐらい登録できるのではないかなと。そうしますと、びっちりやって1年半、登録されるのに1年半ぐらいから2年ぐらいかかるのかなというふうに感じております。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） 14番。

○14番（田島政義君） それにして、本当のプロしか来ていないわけですよね、見る方は。一般の人は、ほとんど縁が遠いと、見てもわからないので行かないかもわからないけれども、インターネットになったらどういうふうになるかわからないのですが、そういうのもっとわかりやすくやるといったら、もっともっと金かかるわけですね。今は、ただ登録だけで1年半もかかれば、それを町民の方が行ってどういう古文書なのかといったら、これはまた読めないものを見ろと言ってもだめで、いろんな翻訳みたいなのをしたら、それはまたもっとお金かかるということになるわけですから、その辺を今後聞いておいて、どの程度町民が見れるものがあるのか、恐らくそれをきちっとしておかないと、ただインターネットですらっと並べても、検索するときには何のことかわからないと検索はいいや、行かないとなれば、本当のプロの人が1年に2人か3人か4人しか来ないのでは、いろいろ考えなければならないのかなと思っていますので、その辺これからもまた並べた後でまたいろいろあれば教えてください。要望しておきます。

○議長（田中正樹君） ほかに。

12番。

○12番（松本祐一君） 19ページの土木費の新幹線建設対策費の中でお尋ねします。

12月4日開業まで、きょうはカウントダウンでいけば、新聞を見てこなかったのですが、85日か86日だと思うのですが、12月4日に向けてのイベントがこれからのどのような形で行われるのか、お知らせいただければと思うのです。例えば、9月の何日でしたっけ、伊奈かっぺいのトークショーがあったり、そういうイベントのスケジュールを教えていただければと思います。

また、新幹線開業に向けて、七戸地区の商工会青年部、天間林地区の商工会青年部が一体となって、今、盛んにやっていますよね、この前の仮装大会。きょうも、ATVで10時からおしゃべりハウスで商工会青年部の方々が生出演しています。ただ、今、時間的に見れないので、そういう活躍をしております。そういう段取りを教えていただければと思います。

○議長（田中正樹君） 新幹線建設対策課推進監。

○新幹線建設対策課推進監（瀬川勇一君） お答えいたします。

この東北新幹線全線開業効果推進事業補助金1,536万円、こちらのほうの説明を最初に申し上げます。これについては、東北新幹線七戸十和田駅の開業実行委員会に補助するものでありまして、主な事業内容としては、キャンペーン事業費として、8月15日、夏まつりの際にみよこコンテスト、ミスグランプリ、それから準ミスの方を観光応援隊キャンペーンガールとして派遣するために、衣装代並びに派遣旅費として183万6,000円、それから、誘客プロモーション事業として、七戸十和田駅を利用する旅行商品の造成及び広告宣伝費に600万円ほど、それから、大手旅行雑誌等への掲載費、2011番のるるぶ等に127万円、合計で736万4,000円。次に、県町村会の補助事業と

して、県の観光連盟が実施する東京ジャック、とことん青森ですけれども、10月25日から11月7日まで、原宿表参道で実施されるわけですけれども、それに物産販売などをしながら参加し、七戸十和田駅をPRすることとしております。

次に、新駅開業イベント費として、4月24日、25日に実施した産直七彩館のオープニングイベント、また、今後行われます11月6日、7日、観光交流センターのオープニングイベント、それから、本番であります12月4日、その前夜祭3日、それから5日と開業当日の開業イベント等に554万5,000円追加となり、総計で1,536万円となっております。

それから、開業に係る関連イベントスケジュールでございますけれども、開業150日前イベントを7月7日、これは隣接の商工会青年部等と実施してございます。それから、開業111日前イベントとして、夏まつりの際に花火の打ち上げを実施してございます。それから、開業100日前イベントとして、観光交流センターにおいて園児等における100日という絵文字を作成して、機運醸成を図ってございます。さらには、毎戸配布にしていますおもてなしに関するチラシ折り込みをしてございます。

次に、開業77日前イベント、新幹線がやってくる、伊奈かっぺいのトークライブですけれども、これは9月18日に柏葉館で開催することとしてございます。それから、開業50日前イベントですけれども、これは記念撮影、看板の設置をしまして機運醸成を図ってまいりたいというふうに考えてございます。

開業に係る1カ月前イベント、これは観光交流センターオープンイベントですけれども、これを11月6日、7日に実施予定してございます。開業までの土日、いわゆるウィークデーイベントとして、毎週イベントを開催しまして、その間、開業に係るトレーニング期間と称しまして、各種イベントを実施予定してございます。開業本番、開業4日、前日の3日から開業イベント、開業式というふうなことで、今、予定してございます。

開業行事として、12月4日の行事内容なのですが、上り1番列車出発式、これはJRが主催して七戸十和田駅で上り1番列車出発式をやることとしてございます。町でのイベントとしては、歓迎式、これは盛岡発1番列車の到着歓迎式、それから仙台発1番列車の到着式、それから東京発1番列車の到着式、これらを駅舎並びに観光交流センターで実施するというふうなことで考えてございます。この中では、八甲田吹奏楽団、八甲田太鼓さん、それから保育園児童の太鼓パレード、それから郷土料理等の振る舞い、それから七戸フェアとかそういうふうな物産イベント等も考えてございます。これらについても、商工会、また隣接の商工会青年部のほうとも連携して事業を実施してまいりたいというふうに考えてございます。

さらには、1番バス出発式、これは十鉄さんが十和田奥入瀬丸ごとシャトル便というふうなことで、1日3便、七戸十和田駅発着で考えてございますので、その出発式も予定してございます。開業記念式というふうなことで、観光交流センターにおいて開業祝賀式を予定してございます。これが一連の開業行事として、今、計画しているところでござい

す。

以上です。

○議長（田中正樹君） 12番。

○12番（松本祐一君） 12月4日までの開業のスケジュール、大変よくわかりました。ぜひ頑張ってくださいと思います。

そういうわけで、つい最近ですか、新聞にJRさんが試乗会を行うのだと。それは、はがきで応募して当たるみたいですがけれども、この試乗会には七戸町民の方々は優先的にどうか、そういうのはあるのでしょうか。できれば、たくさんの人に試乗してもらいたいなど。そして、でき得れば、優先的に七戸町民の方が乗れるのかどうか、それをお尋ねします。

○議長（田中正樹君） 新幹線建設対策課長。

○新幹線建設対策課長（八幡 亮君） お答えいたします。

JR主催の試乗会につきましては、松本議員さん、今、御質問のとおり、七戸町を主体に優先的にということですが、JR主催については、なかなかそれは困難だと思います。ただ、今申し上げることができるのは、その前の11月1日から11月16日の間で、駅周辺で協力いただいた方とか、町の関係団体とか、そういう方々を先に乗せる試乗会の案内をいただいております。それはこちらでも検討して、今、鉄道運輸機構のほうに名簿等の協議をしてございます。それが確定し次第、関係者の皆様に御連絡申し上げたいと思います。

極端に申し上げますと、鉄道運輸機構のほうから直接案内状が行くという形になりますので、JRさん主催については、七戸町、駅舎がありますからということで、そういうことはできないようになってございますので、御理解をいただきたいと思います。

以上です。

○議長（田中正樹君） ほかに。

8番。

○8番（三上正二君） 20ページの4目録の分権改革調査事業費、ちょっとわからないから教えていただきたい。補正前で511あって、補正額でマイナスの500、これちょっと説明。

○議長（田中正樹君） 学務課長。

○学務課長（附田繁志君） お答えいたします。

この緑の分権改革調査事業は、6月議会で議決していただいたものでございます。東小学校の総合学習、ふるさと化に係るものでございまして、これは総務省の事業でございましたけれども、今回、事業が不採択になったというふうなことで、全額減額するものでございます。

以上でございます。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第56号平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算(第4号)は、原案のとおり可決されました。

○日程第7 議案第70号

○議長(田中正樹君) 日程第7 議案第70号平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算(第5号)を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

14番。

○14番(田島政義君) この前もいろいろ話をしました。そして、教育委員会では平成22年6月29日で少子化社会対策会議決定事項で、幼保の関係の書類はみな課長が持っていると思うのですよ、子育てのほうの。まだ国からもらっていない。これは6月29日にやって、8月31日に民主政策調査会子ども・男女共同参画調査会で正式に、平成23年度国会に出して、25年度から実施したいというのが、一応、党としては決めて政府のほうに上げていると。それを踏まえて、やはり役場のほうと相談して、そういうふうになると、恐らく幼稚園、保育園はお金も一緒に全部出すことになるわけですから、そういうことで、教育委員会としてもそれを踏まえながら、25年度実施するのであれば、当然その前にいろいろとそれを問題にして、今はとにかく、だめなのはだめ、直すのですが、ただし、それをやる場合には、それをめどにして廃止するのか民間委託するのかをきちっとしていただければ、恐らくこれは国のほうでやるとなれば、幼保一環してやれば当然お金のほうも父兄の方もそんなに心配ないですから、その時点でやはりきちっとした対策を練って、ただずっと延ばすのではなくて、当初から民間委託をするのだということであれば、その辺をきちっとした形で25年度に国が今、党首制が終われば、これが本格的にこの資料が生きていきますので、そういうので私のほうも随時党のほうに話をし、このデータをいただいて頑張って幼保一環を通していただきたいということをお願いしていま

すので、私の力ではどうにもならないとしても、党としては何とかやりたいということですから、政府も今そういうふう頑張るといいますから、何とかしてその辺を25年度までの関係で、先ほど申し上げたように廃止するのか民間委託するのかどうするのかを、私はきちっと答えていただきたいと思いますので、町長と教育長、ひとつその辺をよろしくお願ひしたい。

○議長（田中正樹君） 町長。

○町長（小又 勉君） 今、お話があったとおり、きょうだと思いますが、閣議に進む決定をすると、幼保一元化に向けた新たな方向性というので。そうすると、こういうのが本当に法案となって出てくると、実は今までは幼稚園を民間で受けろといっても、なかなか受け手がないという状況でしたが、非常に民間もやりやすくなるというふうに思っています。ですから、こういう状況ですから、そういったことに向けて町としても取り組みを進めていきたいと。25年度と言いましたけれども、例えばそうであれば、それに向けた体制づくりを念頭に進めていきたいと思ひますので、よろしく御理解をお願ひしたいと思ひます。

○議長（田中正樹君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 歳入歳出全般にわたり発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第70号平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第5号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第8 議案第57号

○議長（田中正樹君） 日程第8 議案第57号平成22年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第57号平成22年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)は、原案のとおり可決されました。

○日程第9 議案第58号

○議長(田中正樹君) 日程第9 議案第58号平成22年度七戸町老人保健特別会計補正予算(第1号)を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第58号平成22年度七戸町老人保健特別会計補正予算(第1号)は、原案のとおり可決されました。

○日程第10 議案第59号

○議長(田中正樹君) 日程第10 議案第59号平成22年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)を議題とします。

これより、質疑に入ります。
質疑は、事項別明細書により行います。
歳入歳出全般にわたり発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。
これより、討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。
これより、本案について採決します。
本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。
したがいまして、議案第59号平成22年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)は、原案のとおり可決されました。

○日程第11 議案第60号

○議長(田中正樹君) 日程第11 議案第60号平成22年度七戸町介護保険特別会計補正予算(第2号)を議題とします。
これより、質疑に入ります。
質疑は、事項別明細書により行います。
歳入歳出全般にわたり発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。
これより、討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。
これより、本案について採決します。
本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。
したがいまして、議案第60号平成22年度七戸町介護保険特別会計補正予算(第2号)は、原案のとおり可決されました。

○日程第12 議案第61号

○議長（田中正樹君） 日程第12 議案第61号平成22年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第61号平成22年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第13 議案第62号

○議長（田中正樹君） 日程第13 議案第62号平成22年度七戸町七戸霊園事業特別会計補正予算（第1号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第62号平成22年度七戸町七戸霊園事業特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第14 議案第63号

○議長（田中正樹君） 日程第14 議案第63号平成22年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第63号平成22年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第15 議案第64号

○議長（田中正樹君） 日程第15 議案第64号平成22年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）を議題とします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 質疑がありませんので、質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 討論がありませんので、討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第64号平成22年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)は、原案のとおり可決されました。

○日程第16 議案第65号

○議長(田中正樹君) 日程第16 議案第65号平成21年度七戸町各会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

本件については、去る9月1日の本会議において、決算審査特別委員会に審査を付託しておりましたが、特別委員会から審査の結果報告が議長のもとに提出されております。

決算審査特別委員長より、審査報告を求めます。

決算審査特別委員長。

○決算審査特別委員長(二ツ森圭吉君) 審査結果の御報告をいたします。

9月1日の本会議において、議長を除く全議員による決算審査特別委員会が設置され付託されました、議案第65号平成21年度七戸町各会計歳入歳出決算の認定については、8日、9日の2日間にわたり、慎重審査の結果、お手元に配付いたしました委員会報告のとおり、原案のとおり認定すべきものと決定いたしましたので、御報告いたします。

以上、報告いたしますが、議員各位におかれましては御賛同いただきますようお願い申し上げます、委員長報告といたします。

○議長(田中正樹君) これで、決算審査特別委員長の報告を終わります。

お諮りします。

委員長報告に対する質疑、討論を省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議がありませんので、質疑、討論を省略することに決定いたしました。

これより、採決します。

本案に対する委員長報告は、認定すべきものです。

委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第65号平成21年度七戸町各会計歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定されました。

○日程第17 議案第66号

○議長(田中正樹君) 日程第17 議案第66号決算の認定についてを議題とします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。
これより、討論を行います。
討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 議長(田中正樹君) 討論がありませんので、討論を終結します。
これより、本案について採決します。
本案は、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- 議長(田中正樹君) 御異議なしと認めます。
したがって、議案第66号決算の認定については、原案のとおり認定されました。

○日程第18 報告第18号

- 議長(田中正樹君) 日程第18 報告第18号平成21年度七戸町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてを議題とします。
これより、質疑を行います。
発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 議長(田中正樹君) 質疑がありませんので、質疑を終結します。
以上をもって、報告第18号平成21年度七戸町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてを終わります。

○日程第19 陳情第9号及び日程第20 発議第5号

- 議長(田中正樹君) 日程第19 陳情第9号子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する陳情及び日程第20 発議第5号子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する意見書(案)の提出についての2件を一括議題とします。
なお、受理した陳情書は、お手元に配付した陳情文書表のとおりです。
お諮りします。
本件2件については、提出者の説明、質疑、討論を省略したいと思います。
これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- 議長(田中正樹君) 御異議ありませんので、本件2件については、提出者の説明、質疑、討論を省略することに決定しました。
これより、本件2件について採決します。
陳情第9号は採択とし、発議第5号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（田中正樹君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、陳情第9号子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する陳情は採択とし、発議第5号子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する意見書（案）の提出については、原案どおり可決されました。

○閉会宣告

○議長（田中正樹君） 以上で、今期定例会に付議された事件はすべて議了しました。

なお、陳情第7号及び第8号は、お手元に配付の陳情文書表により資料配付とします。

これをもって、平成22年第3回七戸町議会定例会を閉会します。

御苦労さまでした。

閉会 午前11時11分

以上の会議録は、事務局長佐野尚の記載したものであるが、内容に相違ないことを証明するため、ここに署名する。

平成22年9月10日

上北郡七戸町議会議長

議員

議員